第四講 ● 説明的文章②

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（**1**～**3**は意味段落の番号を表します。）

1

私は以前、『そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか！』という本を小学生向けに出しました。そうしたら、大人が読んで、よかったという反応がたくさん返ってきました。

ある女性の障害者の方からいただいた手紙には、こんなふうに書いてありました。

自分も障害を持っているので、今までどうしても友だちが少なかったのです。それで、友だちが欲しくて、ある女性とつきあっていました。その人は実は自分が友だちとして好きじゃない人なのだけど、他に友だちがいなくなるのが怖いのでつきあっていたのです。先生の本を読んで、そのことがよくわかり、そういう友だちならばいなくてもよいのかなと思った時に、すごく気持ちが楽になって、無理につきあうのを止めるようにしました。それで今はむしろ落ち着いています、と。

これは大人の女性の方ですが、こういうことは、年齢がある程度いってもあることなのです。

例えば、六十代七十代の方でも、＊1サークルなどの狭いつきあいの中で、誰かと誰かの距離が遠くなったとか、近くなったとかで不安になることもあります。

ですから、不安で心が揺らがないためにも、自分の心が戻るべき＊2ホームグラウンドみたいなものをしっかりと持っておくことが重要になってきます。

2

自分の世界をどうやって持てばいいのかというと、①自分の好きなものをしっかりと自分の周りに配置しておくことです。そうすると、友だちがい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

なくなっても、ベートーベンをひたすら聴いていれば、心は安定しますし、一人で盛り上がれます。あるいは、友だちがいなくなっても、*3村上春樹を読み続けていれば、その世界に浸ることで満足感を持つことができます。

　そういう自分の心のやり場を求めていくうちに、その時初めて、深くレベルの高いものと関わることができるのです。逆に言えば、友だちがいなくなった時がチャンスです。

　日常的に意識が流れていってしまわずに、その意識がぎゅっと*4凝縮していきます。そうした孤独のエネルギーによって、勉強したり、あるものを深めたりすることができるのです。

3　ですから、たいがい一流の人というのは、孤独な時期というのを持っているのです。その時生まれるのが「*5②四面楚歌力」。

　周りが全部自分の敵であるような気がする時があります。「誰もいないんだ、俺には」と感じる時があります。その時がチャンスです。そうなれる僕、そうなれる私、そう考えると強くなれます。その時に状況を*6ポジティブにとらえられると、「四面楚歌力」がつくのです。

　四面楚歌の状況というのは、実は何かを集中して学ぶのにはよいことなのです。文学にせよ音楽にせよ、本格的に学ぼうとすると、実は③自分自身の世界にグーッと入り込んでいかないとできません。青年期のある時期は、むしろそうした孤独の力を持っているほうが世界が深まってきます。そこで培った一つの世界が自分の原点になったりします。

（齋藤孝『友だちいないと不安だ症候群につける薬』）

*1サークル＝同じ趣味をもつ仲間。
*2ホームグラウンド＝故郷。本拠地。
*3村上春樹＝作家。
*4凝縮＝こりかたまって、ちぢまること。
*5四面楚歌＝まわりがみな敵で、味方がいないという意味の、中国の古典に由来することば。
*6ポジティブ＝ここでは、前向きなこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　1 段落の話題の中心はどんなことですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□　とのつきあいから生まれる　□□。

問二　1 段落で、筆者が最も言いたいことが書かれている一文を文中からさがし、その初めの五字を書きぬきなさい。

□□□□□

問三　――線①「自分の好きなもの」の例として挙げられているものを、文中からすべて書きぬきなさい。

問四　2 段落の要旨（ようし）として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　友だちがいなくなっても満足できるような世界こそ深くてレベルが高いものである。

イ　孤独のエネルギーがあれば、心のやり場がなくても心が安定する。

ウ　友だちがいなくなった時にそなえて日常的に勉強しておくことで満足感が得られる。

エ　自分の世界を求めていくことを通して、自分を深めることができる。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線②「四面楚歌力」とほぼ同じ内容を表す四字のことばをここよりあとの文中からさがし、書きぬきなさい。

□□□□

問六　――線③「自分自身の世界にグーッと入り込んでい」く様子を表す十五字のことばを文中から書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□

問七　3段落の要旨をまとめた次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

青年期における□□□□の状況は、のちの自分にとっての□□となり得る□□□□□を培うチャンスといえる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（1～5は意味段落の番号を表します。）**

1 そんなに寂しさを感じないで、ひとりでいる時が快適に思えることもあります。①孤独の時間というものを、もっと積極的に意義あるものにするべきです。

寂しいという気持ちを徹底して強めていくことで仕事へ向かうエネルギーに転換するとか、勉強するエネルギーに変えていくとか、そういう「孤独力」みたいなものに持っていければいいのです。

2 ただし、ひとりでいる時に充分楽しめる「何か」を持っているということが必要になります。その「何か」をあらかじめ作っておかないと、ひとりになった時に、やはり寂しくなってしまいます。

私の場合は、座禅や、ヨガや、ストレッチングをやっていて、これはひとりの時間を延々つぶせるよい方法でした。ヨガを習って、ひとりで呼吸法のポーズをとっていると、人がいるとやりにくくて、じゃまになってくるのです。ですから、これはひとりの時間にやるのがふさわしいのです。

このように、ひとりの時間には自分の身体とつきあうというのが、とてもよい方法でしょう。ストレッチング一つとっても、結構時間をかけて楽しめる方法があって、音楽をかけながらでもいいですので、ひとりで自分の身体とつきあうというのもなかなかいいのではないでしょうか。

ひとりの時間を楽しむ方法としては、読書や音楽や絵を描くことなども、一般的な方法としてあります。

3 ひとりの時間と言っても、自分の部屋にこもって妙に落ち着いてしまって、いわゆる②引きこもりに近い状態になってしまうと危険です。

ネットを通じてなら人と話せるのだけれど、現実の人間と対面するという状況に適応できなくなってしまう。そうなると、もう家から踏み出せなくなって、外は怖いということになりますので、こういう状況は避けたい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ひとりでも大丈夫というのはよいのですが、他の人との対面はダメということになってしまうと、ちょっと危険です。他の人の持っている世界に対する好奇心がなくなるのは、よくないことです。自分の殻の中に入って、自分の世界を閉じた状態が固まってきてしまうと、いよいよ人とは話せなくなってきてしまう。これがあまり進むと、犯罪に一歩近づくという怖さもある。ですから、これもほどほどがいいのです。

　極端な孤独の状態に入る場合には、③修行だと思ってやったほうがよいのです。修行だと思って勉強しているうちは大丈夫。

　女同士もグループ化が激しいので、かえって孤独のほうが楽な場合もあります。ひとりでいるというのは、慣れてみると快適だったりすることもあります。

4 人生にも季節があって、それぞれの時期の友だちというのがあります。熱い友情を語ることもあれば、仕事上のつきあいで何となく友だちでいることもある。

　かなり年が離れていても、二十歳くらい年下でも、友だちっぽくなってしまう人もいます。そういう友だちが、ちょうど心地よい年齢みたいなものがあります。

5 友だち力というのは、友だちを作る力ではないのです。無理して作らなくてもいいということも含めて、友だちとの距離感をコントロールできるということです。距離感が大事というニュアンス*です。

　友だちとの距離感を意識して、自分でコントロールできていれば大丈夫なのです。ところが、「仲間はずれにされちゃった」というように、されちゃった感が強すぎるのは、自分でコントロールできていない状態です。

　気持ちを軽く持って、ほどほどの友だち力をつけていきたいものです。

（齋藤孝『友だちいないと不安だ症候群につける薬』）

＊ニュアンス＝ここでは、意味合い。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「孤独の時間というものを、もっと積極的に意義あるものにする」とありますが、それができる能力を筆者は何と呼んでいますか。**1**段落の文中から書きぬきなさい。

問二　**2**段落の小見出しとして使える十二字のことばを文中から書きぬきなさい。

問三　――線②「引きこもりに近い状態」の人と、③「修行だと思って」いる人は、ひとりの時間に対してどんな姿勢でいると言えますか。最もよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　ひとりであることをいやがっている。
イ　ひとりであることににげこんでいる。
ウ　ひとりであることをうらんでいる。
エ　ひとりであることを利用している。

②　□　③　□

問四　**3**段落の要旨をまとめた次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

孤独であることはよいが、□にして□はいけない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　**4**段落に書かれている内容として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　人生の中で、いろいろな友だちが急激（きゅうげき）に増える時期があるものだ。

イ　友だちと自分とが人生のどれぐらいの間つきあうのかは、それぞれの年齢によってちがうものだ。

ウ　どんな相手であっても、つきあうのにちょうどよい年齢があるものだ。

エ　友だちというものは、人生の時期・年齢によって、いろいろなつきあい方、いろいろな相手があるものだ。

［　　］

問六　**5**段落の要旨をまとめた次の文の［　］にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

［　　　　］とは友だちとの［　］［　　］を［　　　　　　］できる力である。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　説明的文章②

一題目

問一　友だち・不安
問二　ですから、
問三　ベートーベン・村上春樹　（順不同）
問四　エ
問五　孤独の力
問六　意識がぎゅっと凝縮していきます
問七　四面楚歌・原点・一つの世界

二題目

問一　孤独力
問二　ひとりの時間を楽しむ方法
問三　②　イ
　　　③　エ
問四　自分の世界を閉じた状態
問五　エ
問六　友だち力・距離感・コントロール

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。